



品名	CATV、CS・BSブースタ
自社型式	CATV・SH-1MS
BL型式	CATV・SH-1
優良住宅部品	
国土交通省営繕仕様	

部品明細表			
番号	部品名	材質	表面処理
1	カバー	アルミニウム	焼付塗装
2	ケース	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ
3	シャーシ	アルミダイカスト	焼付塗装
4	F型端子	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ
5	アース端子	アルミダイカスト	—

マスプロ電気株式会社

項目		規格		
周波数帯域		10～55MHz (CATV上り)	70～770MHz (CATV下り)	1000～3224MHz (BS・CS)
最大伝送容量 1		2ch.(アナログTV信号) + データ信号	74ch.(アナログTV信号) (70～550MHz) + デジタル信号 (550～770MHz)	BS・CS 50ch. (デジタル)
標準入力レベル		80dBμV (ハイレベル伝送時105dBμV)	72dBμV	68dBμV
標準利得		30dB以上	38dB以上	35dB以上/1000MHz 45dB以上/3224MHz
定格出力レベル 2		110dBμV	110dBμV	103dBμV/1000MHz 113dBμV/3224MHz
入力レベル調整	ATT	0～30dB切換(5dBステップ)	0～16dB切換(2dBステップ)	0、5、10dB切換
	入力フィル特性	—	0～14dB切換(2dBステップ) 7	0、6、12dB切換 10
	逆フィル特性	—	0～14dB切換(2dBステップ) 8	—
	イコライザー	—	0、4dB切換 9	—
出力レベル調整	ATT	0～16dB切換(2dBステップ)	—	—
	利得調整範囲	0～⊖10dB以上(連続可変)	0～⊖10dB以上(連続可変)	0～⊖10dB以上(連続可変)
	フィル特性	0～⊖6dB以上 6 (連続可変)	0～⊖14dB以上 7 (連続可変)	0～⊖10dB以上 10 (連続可変)
伝送帯域内周波数特性偏差		全帯域で ±1.0dB以内	全帯域で ±2.0dB以内	任意の34.5MHzで ±1.0dB以内 フィル直線に対し全帯域で ±2.5dB以内
雑音指数		10dB以下	10dB以下	10dB以下
電圧定在波比		2.0以下	2.0以下	2.5以下
相互変調	IM ₂ 3	⊖60dB以下	⊖63dB以下	—
	IM ₃ 3	⊖70dB以下	—	—
CTB 4		—	⊖60dB以下	—
CIN 3		—	—	⊖22dB以下
利得安定度		±2.0dB以内	±2.0dB以内	±3.0dB以内
ハム変調		⊖60dB以下	⊖60dB以下	⊖60dB以下
漏洩電界強度 5		—	34dBμV/m以下	40.2dBμV/m以下
入力測定端子結合量		⊖20dB(F型端子)	⊖20dB(F型端子)	⊖20dB(F型端子)
出力測定端子結合量		⊖20dB(F型端子)	⊖20dB(F型端子)	⊖20dB(F型端子)
入出力インピーダンス		75 (F型端子)		
耐衝撃波		JEC:±25kV(1.2/50μs)、IEC:±15kV(1.2/50μs)、±1.5kA(8/20μs)のサージ電圧・電流に耐えること		
電源		AC100V 50/60Hz		
消費電力		約20W/約38VA (BS・110度CSアンテナへ給電時 約28W/約50VA)		
コンバータ供給電源		DC15V 6W		
使用温度範囲		⊖10～⊕40		
外形寸法		196(H)×140(W)×68(D)mm		
質量(重量)		約1.7kg		
シンボル				
備考		避雷回路内蔵、定電圧回路内蔵		

- デジタルは⊖10dB運用。
- 全電力が⊕20dBm以下で運用のこと。
- 定格出力レベル時。
- 70～550MHzに適用。
- 3mの距離において。
- 55MHzを基点とした10MHzでのフィル特性量です。
- 770MHzを基点とした70MHzでのフィル特性量です。
- 70MHzを基点とした770MHzでのフィル特性量です。
- 450MHzを基点とした70MHzと770MHz、
または、70MHzと770MHzを基点とした450MHzでのフィル特性量です。
- 3224MHzを基点とした1000MHzでのフィル特性量です。

品名	CATV、CS・BSブースタ
自社型式	CATV・SH-1MS
BL型式	CATV・SH-1
優良住宅部品	
国土交通省営繕仕様	

マスプロ電気株式会社